

令和4年度「まちかどコメンテーター」 アンケート調査結果 〈抜粋版〉

鹿児島市

・第6回

- 1 消費生活センターについて（消費生活センター）
- 2 市電運賃クレジットカードタッチ決済について（交通局総合企画課）
- 3 「まちかどコメンテーター」アンケートについて（市民協働課）

目 次

I	調査の概要	1
II	消費生活センターについて	4
III	市電運賃クレジットカードタッチ決済について	20
IV	「まちかどコメンテーター」アンケートについて	28

I 調査の概要

1. まちかどコメンテーターの概要

(1) まちかどコメンテーターとは

市民の皆様「まちかどコメンテーター」になってもらい、市民目線の意見・提言を聴取するとともに、市民のニーズを把握し、市政運営の参考とさせていただくものです。

また、アンケートを通じて、市民の皆様の市政への関心・興味を深めていただくことも目的としています。

(2) まちかどコメンテーターの選定方法

市内に住むか通勤・通学する 18 歳以上の方を対象とし、一般公募及び住民基本台帳から無作為抽出した市民 2,200 人への就任依頼において、応募・承諾いただいた方により構成しています。

(3) 任期

令和 4 年 6 月 1 日～令和 5 年 5 月 31 日

(4) 人数

340 人（第 6 回調査実施時点）

(5) 所管課

市民局 市民文化部 市民協働課

2. 第6回調査の概要

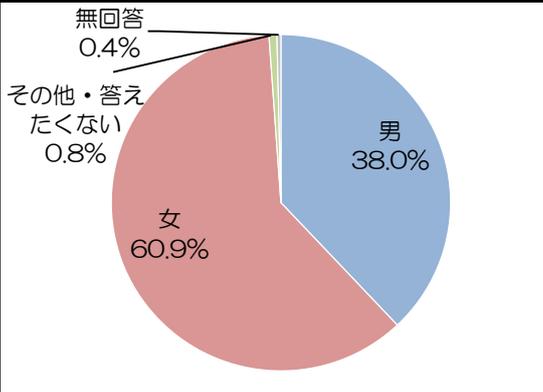
(1) 調査概要

テーマ/担当課	消費生活センターについて	消費生活センター
	市電運賃クレジットカードタッチ決済について	交通局総合企画課
	「まちかどコメンテーター」アンケートについて	市民協働課
調査期間	令和5年2月6日～2月24日	
回答率	78.2% (266人)	

(2) 回答者属性

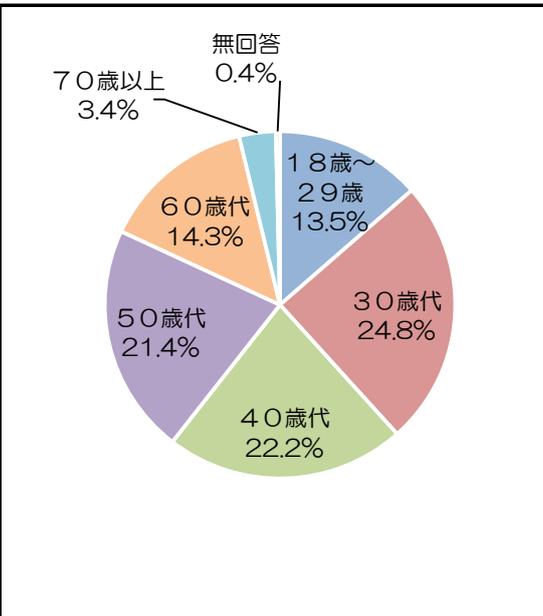
① 性別

選択肢	回答数	割合
男	101	38.0%
女	162	60.9%
その他・答えたくない	2	0.8%
無回答	1	0.4%
サンプル数	266	100.0%

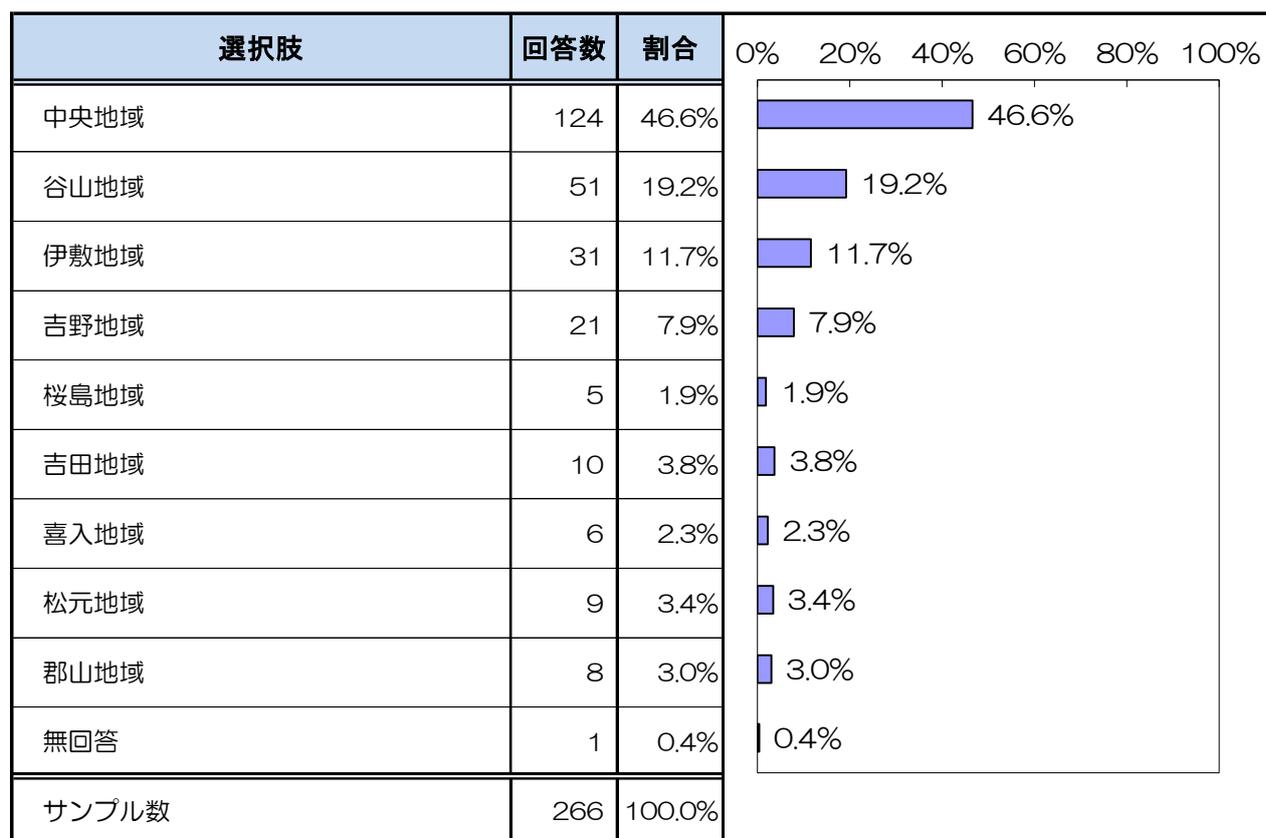


② 年代

選択肢	回答数	割合
18歳～29歳	36	13.5%
30歳代	66	24.8%
40歳代	59	22.2%
50歳代	57	21.4%
60歳代	38	14.3%
70歳以上	9	3.4%
無回答	1	0.4%
サンプル数	266	100.0%



③ 居住地



3. 報告書上の留意点

- ・ 構成比は小数点第2位以下を四捨五入して表示しているため、合計が合わない場合があります。
- ・ 複数回答可の質問の構成比の合計は100%を超えることがあります。
- ・ 設問文や選択肢等の表記において、原文より変更している場合があります。

Ⅱ 消費生活センターについて

1. 調査の目的

鹿児島市消費生活センターでは、日常の消費生活に関する様々な問合せに答えるとともに、商品やサービスについて相談に応じ、アドバイスや情報提供を行っています。

近年、消費者トラブルはインターネット等の普及もあり、多様化・複雑化しています。また、令和4年4月には民法の一部改正により、成年年齢が20歳から18歳へと引き下げられたことから、若者の消費者トラブル増加も心配されています。

これら消費者トラブルの未然防止を図るとともに、現在や将来にわたって私たち一人一人が社会や環境のことを考えて行動する「消費者市民」を目指していくために、市民の皆さんの意識とニーズを把握することを目的としたアンケートを実施し、今後の消費者行政の取り組みの参考とさせていただきますので、ご協力をお願いいたします。

2. 調査結果を受けて担当課（消費生活センター）からのコメント

消費生活センターにつきまして、多くのご回答やご意見をいただき、ありがとうございました。

当センターについては、52.3%の方が「知っている」と回答され、その中でも「消費生活相談」の活動の認知度は100%でしたが、それ以外の「消費生活出張講座」や「消費生活パネル展」などの認知度は20%前後だったことから、当センターの取り組みについて更なる周知啓発に努める必要があることが分かりました。

「消費者トラブルにあったことがある」と回答した方は21.1%で、その中で、商品・サービスの販売・購入形態をお聞きしたところ、「通信販売（インターネット取引を含む）」が53.6%と最多であり、インターネット取引等による消費者トラブルが多くなっていることがうかがえました。

また、消費生活に関する情報を主に何から入手しているかという質問に対しては、「テレビ・ラジオ」が67.3%と最多になっている一方、「インターネットニュース」の割合も57.1%と高い比率を占めることが分かりました。

このほか、成年年齢の引き下げについては、99.2%の方が「知っている」と回答され、認知度は高かったものの、未成年者取消権の認知度は54.1%と半数程度だったことから、出張講座などの機会を捉えて周知に努めてまいります。

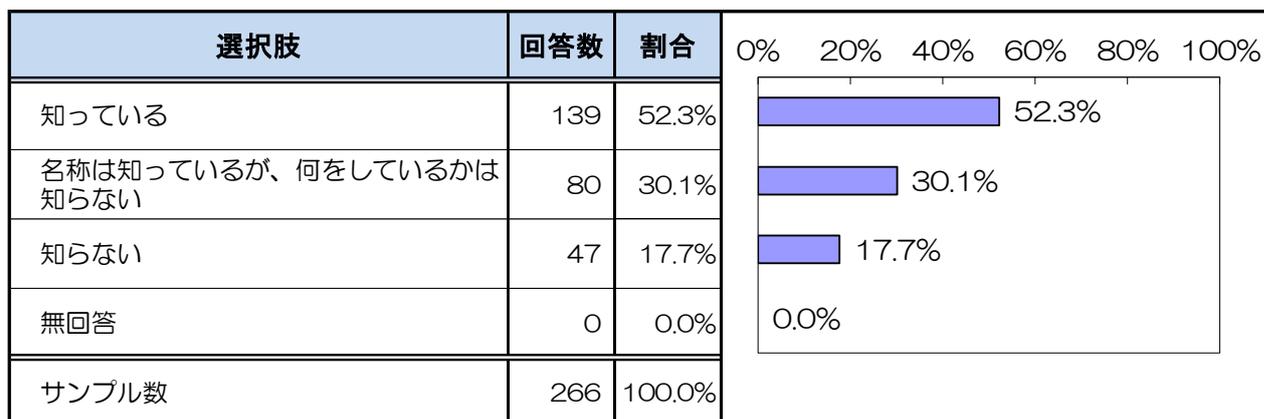
今回、「エシカル消費」についてお尋ねしたところ、「言葉と内容の両方を知っている」又は「言葉は知っているが内容は知らない」と回答した方は29.3%でした。一方で、「エシカル消費につながる行動で心掛けているもの」につきましては、「マイバッグやマイボトルの利用」が76.7%、「食品ロスの削減」が59.4%、「節水や節電に努める」が51.9%と、意識の高さをうかがうこともできました。

今回の調査結果を踏まえ、消費者トラブルの未然防止を図り、消費生活の安定と向上を図ってまいります。

3. 調査結果

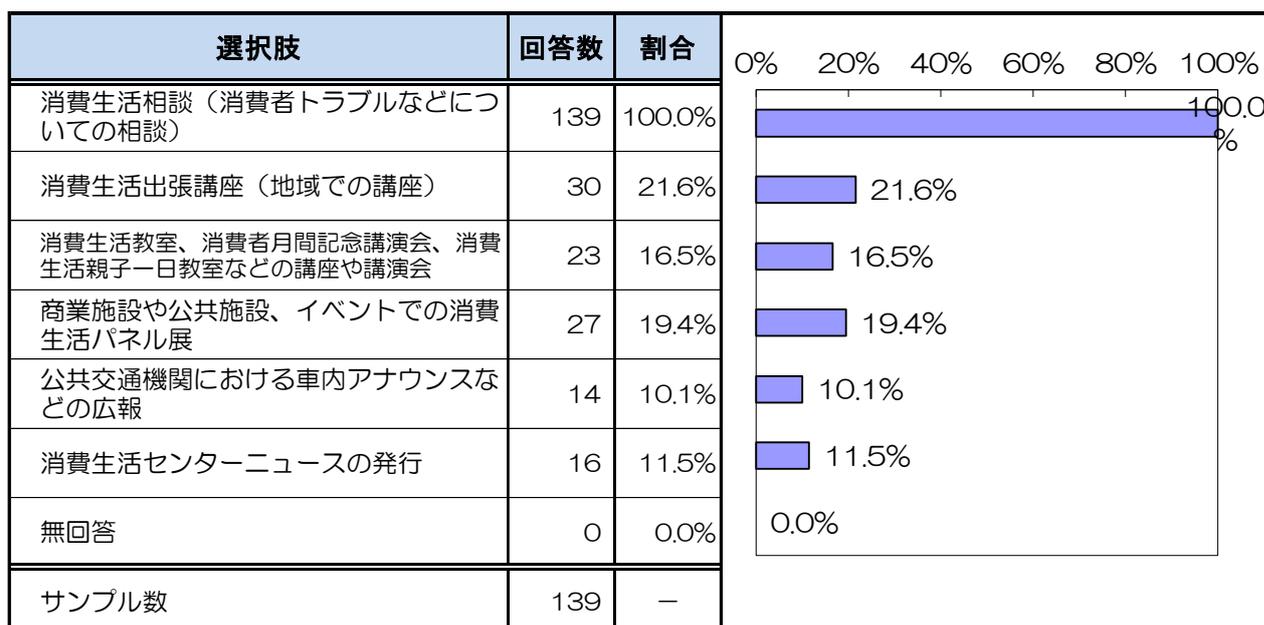
問1 鹿児島市消費生活センターを知っていますか。(単数回答)

「知っている」が 52.3%、「名称は知っているが、何をしているかは知らない」が 30.1%、「知らない」が 17.7%となっています。



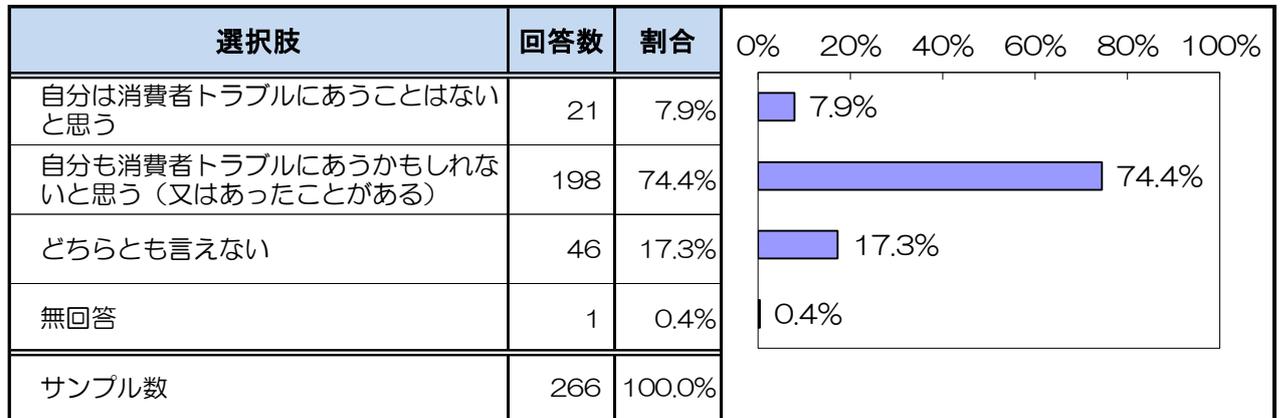
問2 問1で「1. 知っている」とお答えした方にお伺いします。鹿児島市消費生活センターの活動について知っているものはどれですか。(複数回答)

「消費生活相談（消費者トラブルなどについての相談）」が 100.0%と最も高く、次いで、「消費生活出張講座（地域での講座）」の 21.6%、「商業施設や公共施設、イベントでの消費生活パネル展」の 19.4%の順となっています。



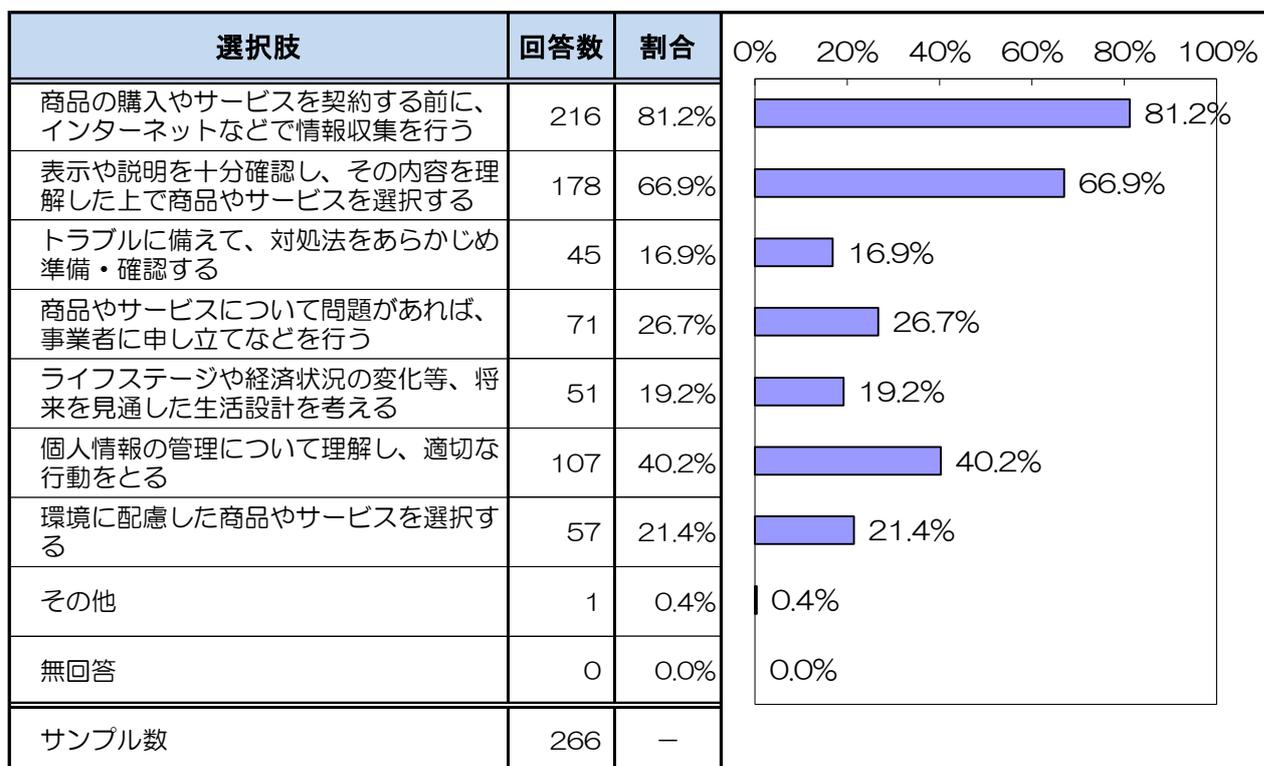
問3 消費者トラブルについてどのように考えていますか。(単数回答)

「自分は消費者トラブルにあうことはないと思う」が 7.9%、「自分も消費者トラブルにあうかもしれないと思う (又はあったことがある)」が 74.4%、「どちらとも言えない」が 17.3%となっています。



問4 消費者としてどのようなことを心掛けていますか。(複数回答)

「商品の購入やサービスを契約する前に、インターネットなどで情報収集を行う」が 81.2%と最も高く、次いで、「表示や説明を十分確認し、その内容を理解した上で商品やサービスを選択する」の 66.9%、「個人情報の管理について理解し、適切な行動をとる」の 40.2%の順となっています。

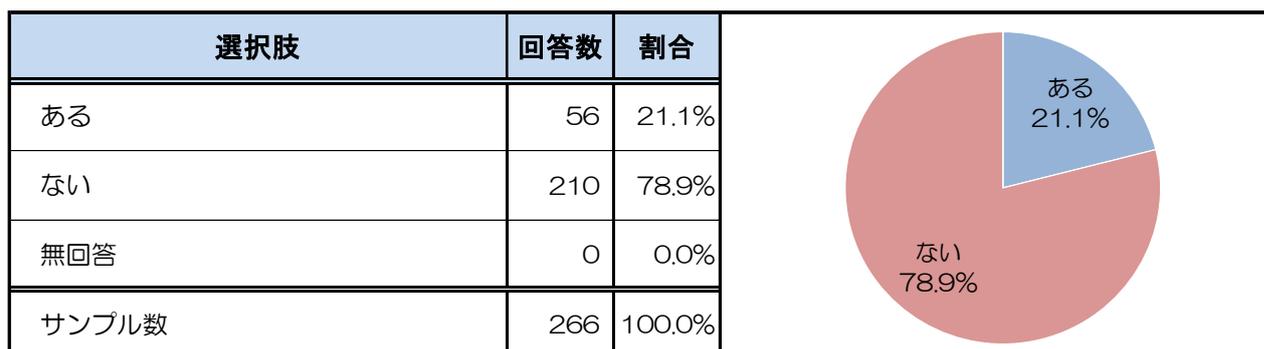


◆その他の回答 (原文まま)

- ・インターネットのクチコミやレビューを探す
- ・安易に個人情報を公開しない

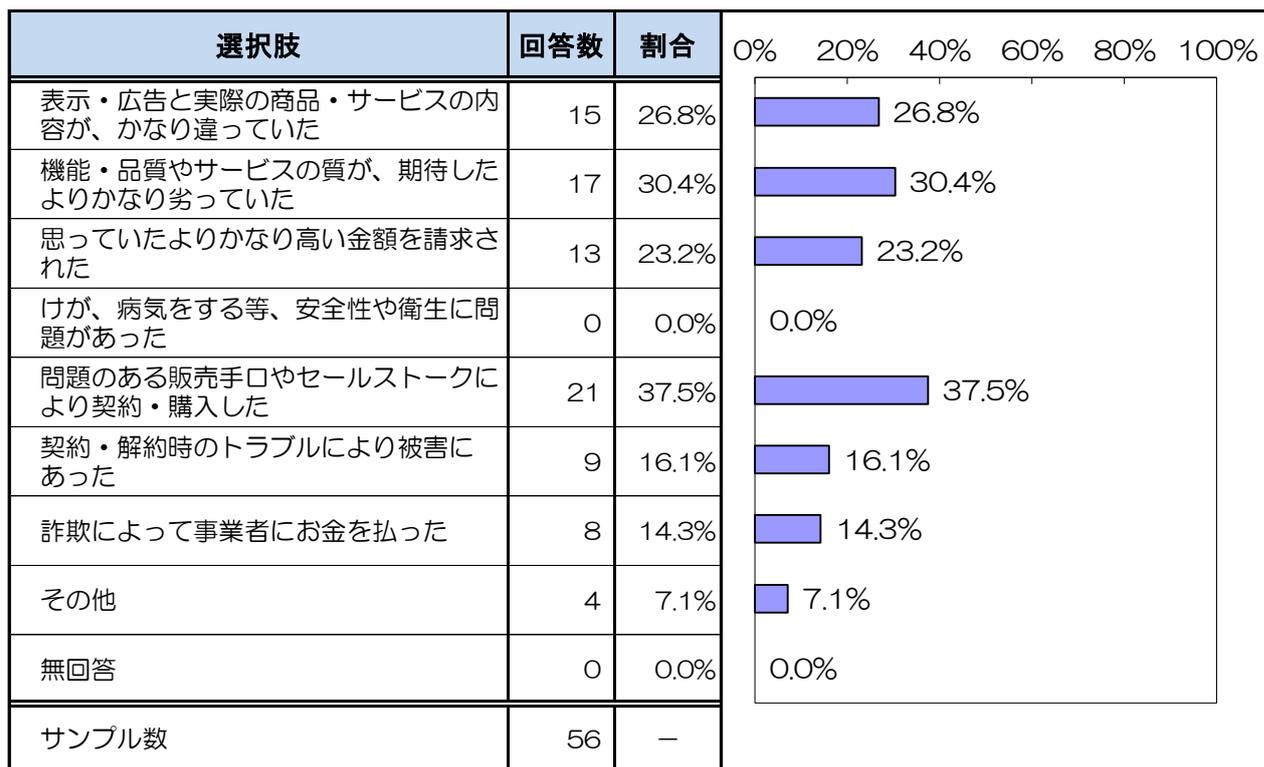
問5 今までに購入した商品、利用したサービスに関して、消費者トラブルにあったことがありますか。(単数回答)

「ある」が 21.1%、「ない」が 78.9%となっています。



問6 問5で「1. ある」とお答えした方にお伺いします。今までに購入した商品、利用したサービスに関して、どのような消費者トラブルにありましたか。(複数回答)

「問題のある販売手口やセールストークにより契約・購入した」が 37.5%と最も高く、次いで、「機能・品質やサービスの質が、期待したよりかなり劣っていた」の 30.4%、「表示・広告と実際の商品・サービスの内容が、かなり違っていた」の 26.8%の順となっています。

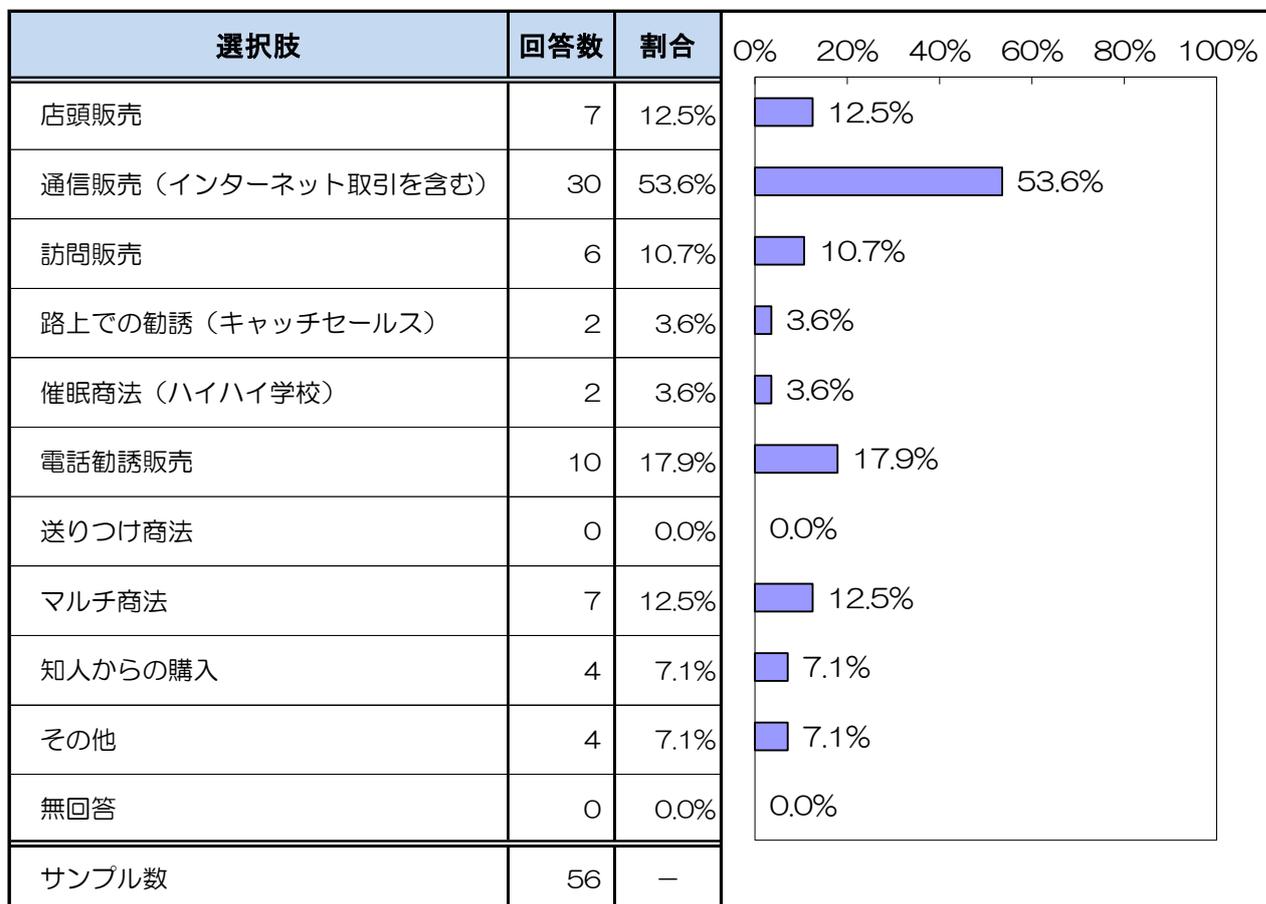


◆その他の回答 (原文まま)

- ・インターネットサイトで購入した商品(パルスオキシメーター)が届かなかった。何度も問い合わせや抗議をしてようやく届いた商品も不良品だった。
- ・お茶会と称して尋ねていくとネズミ講まがいの集まりで、商品の勧誘が始まった事がある。これが親戚、友人だと厄介である。
- ・欠品商品に対して連絡はきたが、振り込んだお金に関しての対応説明がない。
- ・注文した商品が届かず、お金だけ引き落とされた。

問7 問5で「1. ある」とお答えした方にお伺いします。問5で回答した商品・サービスの販売・購入形態をお答えください。(複数回答)

「通信販売（インターネット取引を含む）」が 53.6%と最も高く、次いで、「電話勧誘販売」の 17.9%、「店頭販売」「マルチ商法」の 12.5%の順となっています。

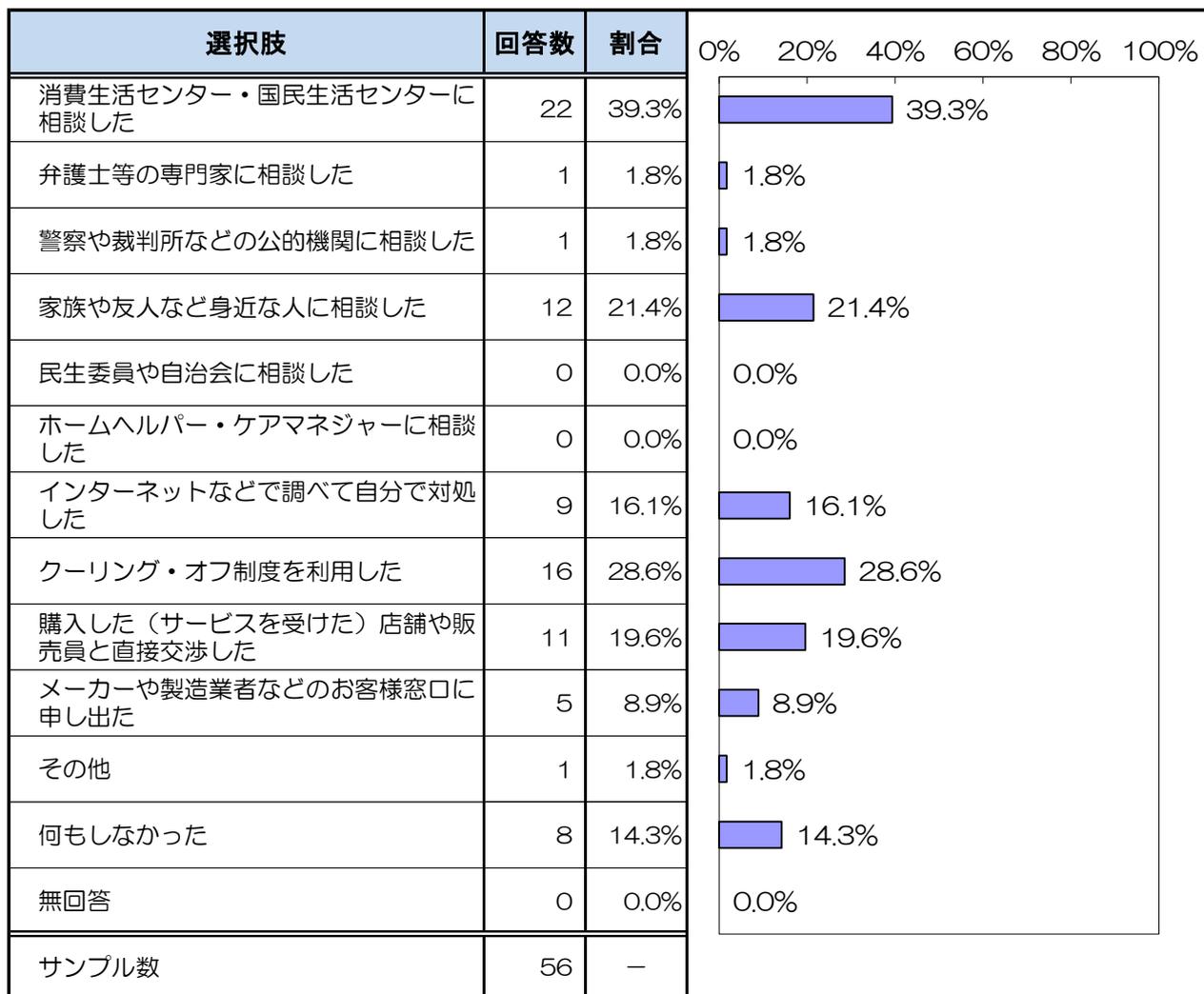


◆その他の回答（原文まま）

- ・着物屋さんが催した東京旅行が格安で行けるという、誘いにのり行ったところ宝石の展示場に連れて行かれ高額の宝石を購入させられました。
- ・新聞の紙面公告、チラシの公告等で
- ・不動産賃貸解約
- ・友人からの紹介で行ったエステで、最初は無料お試しから、口巧みに高額契約に導かれ契約。悩んだ末クーリングオフをしに行くとなかなか手続きしようせず、「半額でいい」と引きとめられたり大変でした。友人もネズミ講だったのかも。

問8 問5で「1. ある」とお答えした方にお伺いします。問6で回答した消費者トラブルへ、どのように対処されましたか。(複数回答)

「消費生活センター・国民生活センターに相談した」が39.3%と最も高く、次いで、「クーリング・オフ制度を利用した」の28.6%、「家族や友人など身近な人に相談した」の21.4%の順となっています。

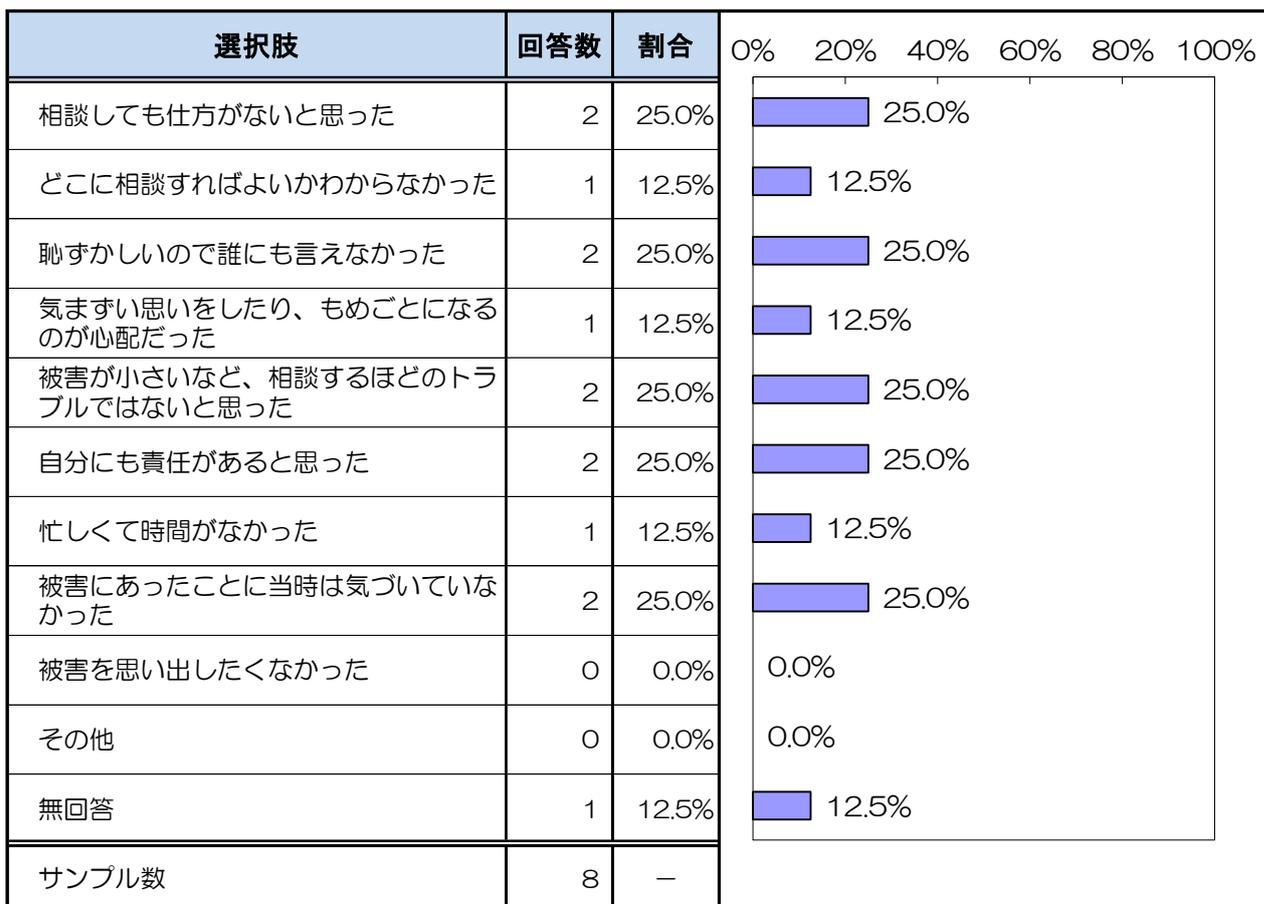


◆その他の回答 (原文まま)

- ・直接業者に連絡したどうにもならないと言われた。

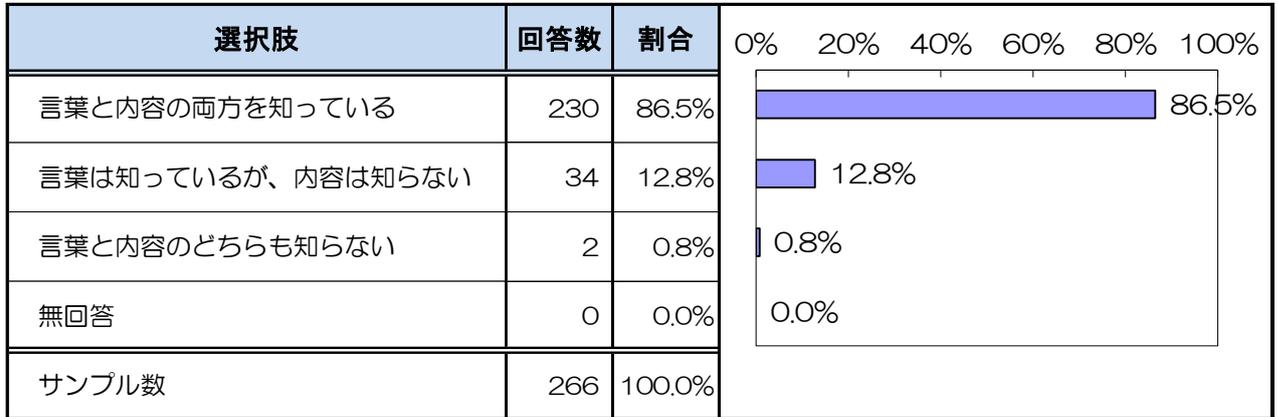
問9 問8で「12. 何もしなかった」とお答えした方にお伺いします。あなたが消費者トラブルに対して何もしなかった理由は何ですか。
(複数回答)

「相談しても仕方がないと思った」「恥ずかしいので誰にも言えなかった」「被害が小さいなど、相談するほどのトラブルではないと思った」「自分にも責任があったと思った」「被害にあったことに当時は気づいていなかった」がそれぞれ25.0%と最も高くなっています。



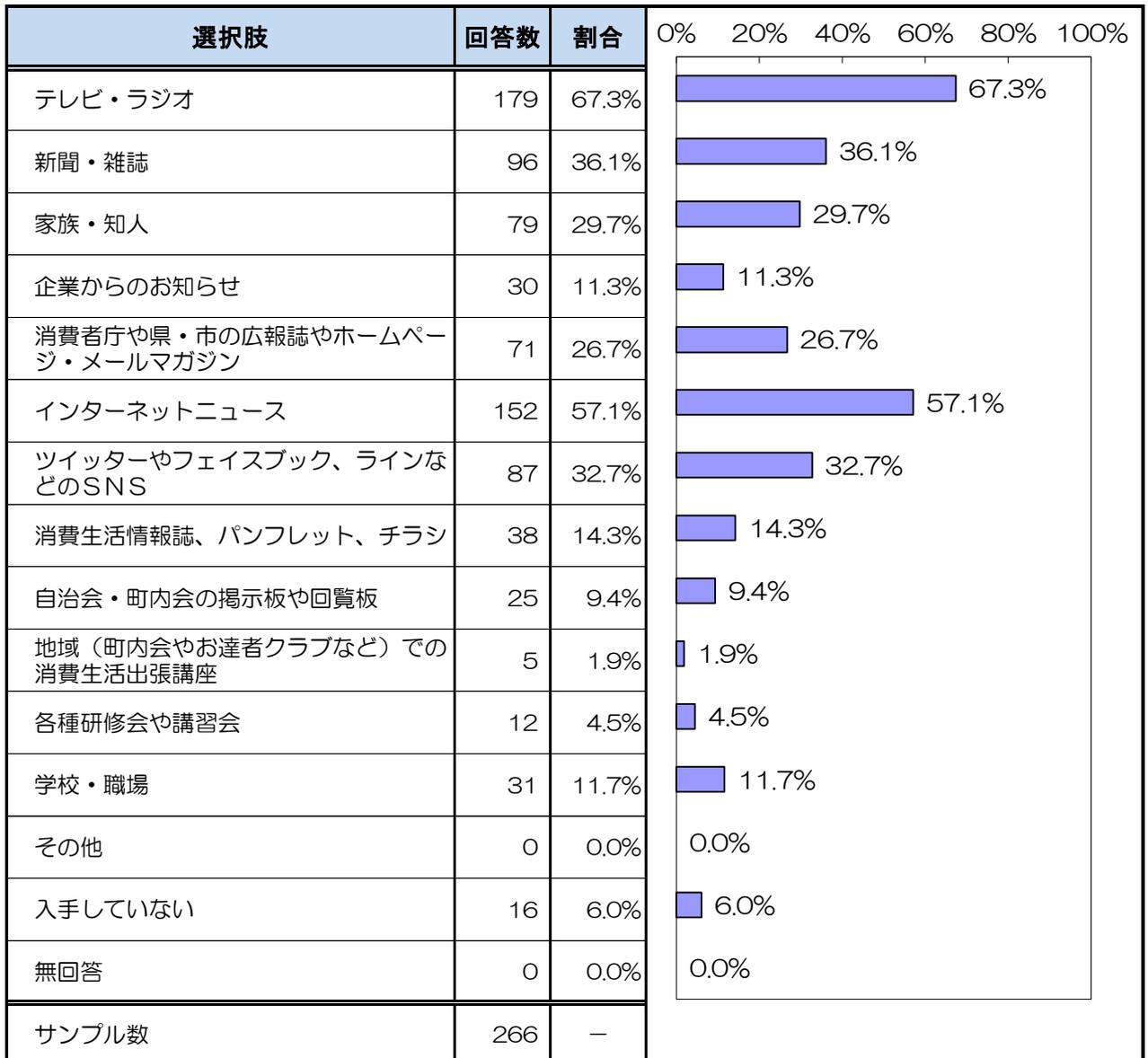
問 10 クーリング・オフ制度を知っていますか。(単数回答)

「言葉と内容の両方を知っている」が 86.5%、「言葉は知っているが、内容は知らない」が 12.8%、「言葉と内容のどちらも知らない」が 0.8%となっています。



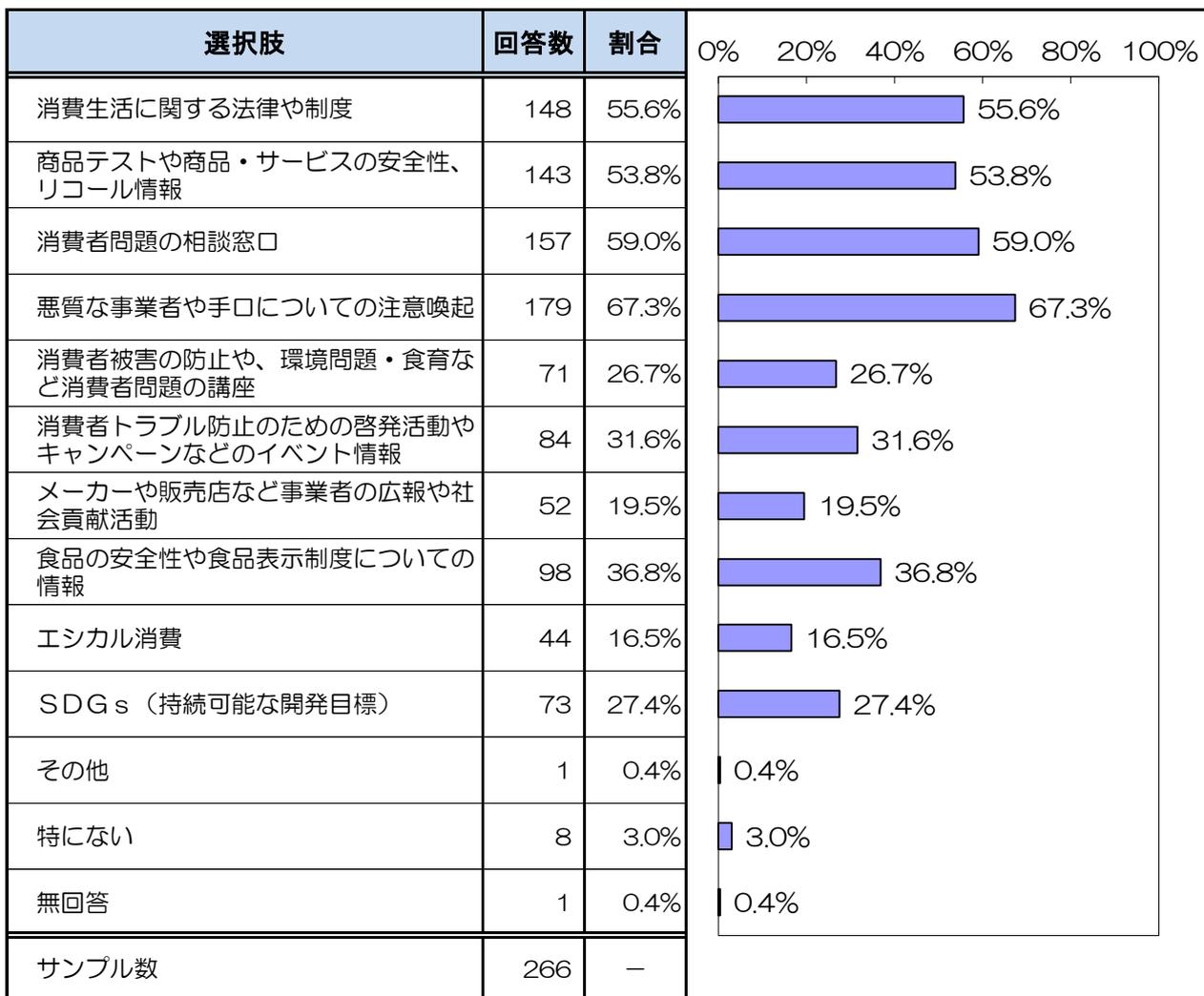
問 11 消費生活に関する情報を、主に何から入手していますか。(複数回答)

「テレビ・ラジオ」が 67.3%と最も高く、次いで、「インターネットニュース」の 57.1%、「新聞・雑誌」の 36.1%の順となっています。



問 12 消費生活に関する情報で、あなたが重要と考えるものはどのような情報ですか。(複数回答)

「悪質な事業者や手口についての注意喚起」が67.3%と最も高く、次いで、「消費者問題の相談窓口」の59.0%、「消費生活に関する法律や制度」の55.6%の順となっています。



◆その他の回答（一部抜粋・原文まま）

- ・訪問販売、宗教勧誘など取り締まってほしい

問 13 成年年齢が20歳から18歳に引き下げられたことを知っていますか。
 (単数回答)

「知っている」が99.2%、「知らない」が0.8%となっています。



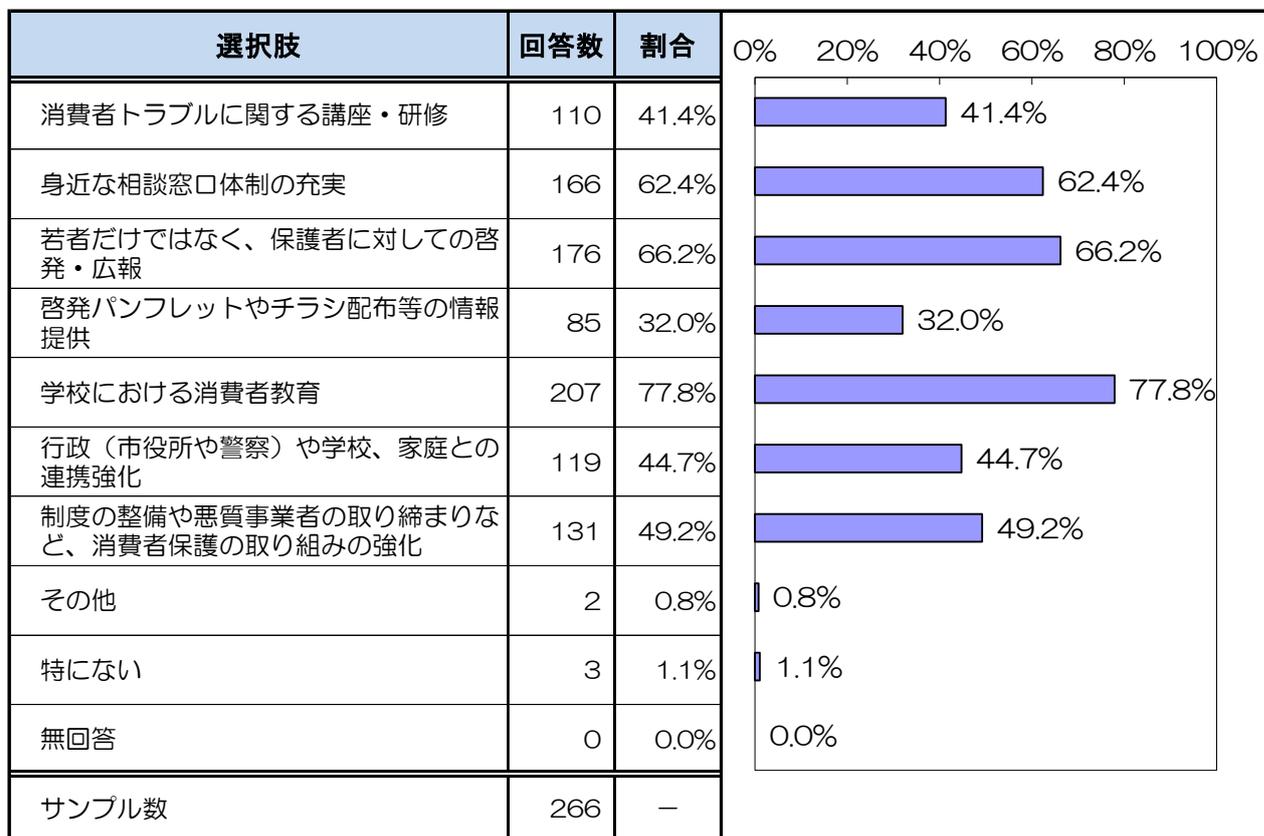
問 14 未成年者が、保護者の同意を得ることなく行った法律行為は取り消し
 ができることを知っていますか。(単数回答)

「知っている」が54.1%、「知らない」が45.9%となっています。



問 15 若者の消費者トラブルを防ぐために、市ではどのようなことに取り組むべきだと思いますか。(複数回答)

「学校における消費者教育」が77.8%と最も高く、次いで、「若者だけではなく、保護者に対しての啓発・広報」の66.2%、「身近な相談窓口体制の充実」の62.4%の順となっています。

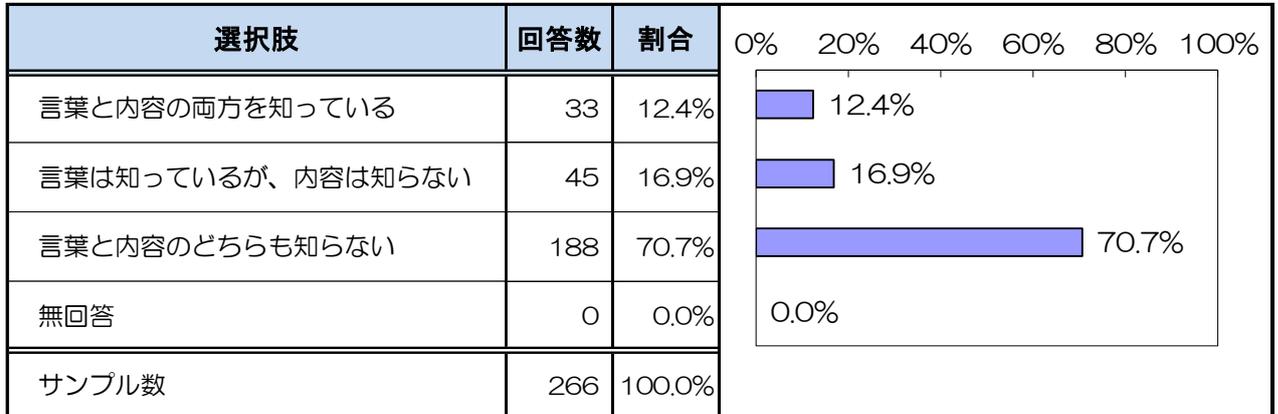


◆その他の回答（原文まま）

- ・まずは様々な方法での情報発信。ラジオも有効的だと思う。

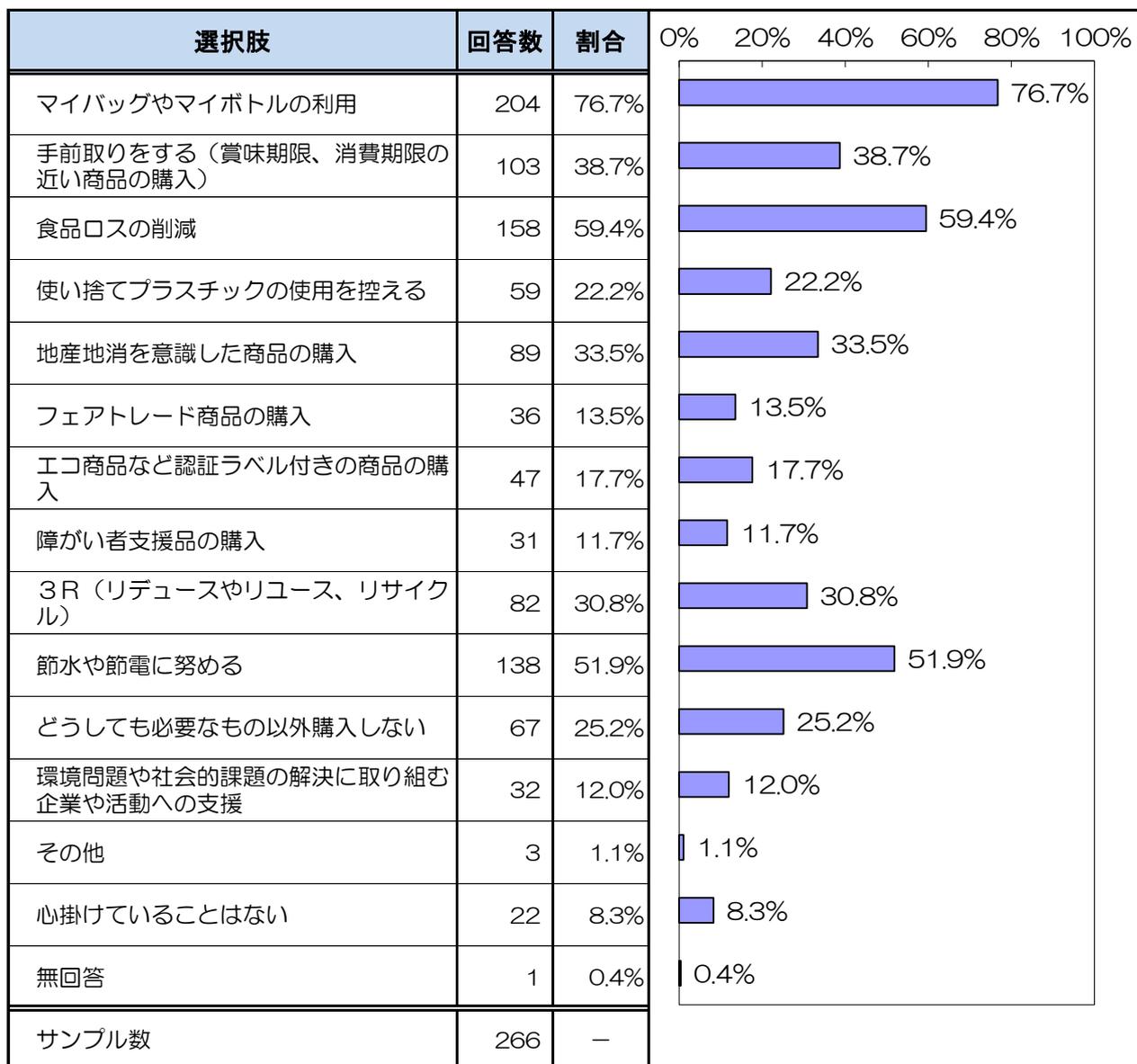
問 16 あなたは「エシカル消費」について知っていますか。(単数回答)

「言葉と内容の両方を知っている」が 12.4%、「言葉は知っているが、内容は知らない」が 16.9%、「言葉と内容のどちらも知らない」が 70.7%となっています。



問 17 あなたが「エシカル消費」につながる行動で心掛けているものはどれですか。(複数回答)

「マイバッグやマイボトルの利用」が 76.7%と最も高く、次いで、「食品ロスの削減」の 59.4%、「節水や節電に努める」の 51.9%の順となっています。



◆その他の回答(原文まま)

- ・エシカル消費の意味を知らないので何を意識したらいいか分からない。
- ・知らない
- ・適正価格での購入。

問 18 消費生活や消費生活センターについてご意見等がございましたら、ご自由にご記入ください。

◆回答一覧（一部抜粋・原文まま）

・周知・啓発・広報について

回答内容	性別	年代	地域
「消費生活センター」という存在は知っているが、いざ自分が困った時にどこに行ってもどんな行動をするべきか正直よく分からない。消費生活センターの使用方法についての周知を強化すべきだと思う。	男	29歳以下	中央

・他機関との連携や支援の在り方について

回答内容	性別	年代	地域
以前、デート商法に騙されかけた時、親身に相談に乗ってもらいました。相手の方にもしっかり話して下さってとても心強かったです。当日、働いていた店長に相談して消費者センターを教えてくださいました。今は、当時に比べ詐欺は巧妙になってきているのに、インターネットの普及と在宅などにより、人と関わらなくなった分、相談や話をする機会が減っていると思います。そういう人達が詐欺にあわない、あっても消費者センターなどに相談（恥ずかしい事でも怖い事でもない）できる様に、身近に感じてもらえる様になれば良いなあとと思います。	女	40歳代	中央

・エシカル消費について

回答内容	性別	年代	地域
勤務先には、自家製のお茶をマイボトル飲料を持参します。節約と健康のため。マイバックは、環境のためでなく節約のためですが、実際ゴミ捨てるためにビニール袋を購入しているので、エコを感じられません。エコバッグを利用する際、エコバッグ(衛生的)の使い回しを考え、肉、魚、野菜、それぞれ、無料のビニール袋に入れてから、エコバッグに入れている。以前は、店側が過剰にビニール袋を使う傾向があったことは改善すべきだと思う。	女	50歳代	中央

Ⅲ 市電運賃クレジットカードタッチ決済について

1. 調査の目的

交通局では、対応するクレジットカード（Visa）を読み取り機にタッチすることで市電の運賃を支払うことができる「タッチ決済」の実証実験を行っています。現在は、市電の一部車両（25両／全55両）のみの実施で、利用できるカードのブランドもVisaのみですが、今後、対象車両を市電全車両や市バスへ、また、利用できるブランドもJCBなどへと広げていきたいと考えております。

この実証実験の効果や課題を検証する一環としまして、今回、皆様方にアンケートのご協力をお願いいたします。

2. 調査結果を受けて担当課（交通局総合企画課）からのコメント

市電のタッチ決済導入実証実験について、多くのご回答やご意見をいただき、誠にありがとうございました。

令和4年11月から同実証実験に取り組んでおりますが、57.5%の方がこのことを「知らない」と回答されていることや、市電を「ほとんど利用しない（年数回程度）」方が51.5%、「全く利用しない」方が33.5%いらっしゃることから、周知広報や市電の利用促進に向けた利便性の向上が大きな課題であることを改めて認識しました。

また、自由意見では、交通系ICカード全国相互利用サービスやQRコード決済等への対応について、非常に多くのご意見をいただきました。

平成25年に開始された交通系ICカード全国相互利用サービスにつきましては、高額な初期費用とその費用対効果のほか、JR九州のSUGOCAに先んじて平成17年に導入し、県内で広く普及して敬老・友愛パスとしても使われているIC乗車券ラピカの取扱い、県内公共交通事業者との調整など課題も多く、長年の懸案でございますが、現在のところ、対応は難しい状況でございます。

一方、クレジットカードのタッチ決済は、海外約600都市の交通で導入され、国内各地でも実証実験が進められており、今後のタッチ決済対応カードの拡大見込みを踏まえますと、決済手段の多様化という点で優れ、キャッシュレス運賃決済の今後の大きな流れのひとつになると考えております。

市電・市バスへのタッチ決済の導入により、チャージが不要なことや携帯するカードを減らせること、更に、運賃支払い方法の選択肢が広がることなどから、利用者の多くを占める市民など地元の皆様の利便性が向上し、併せて旅行者等への対応も図られます。

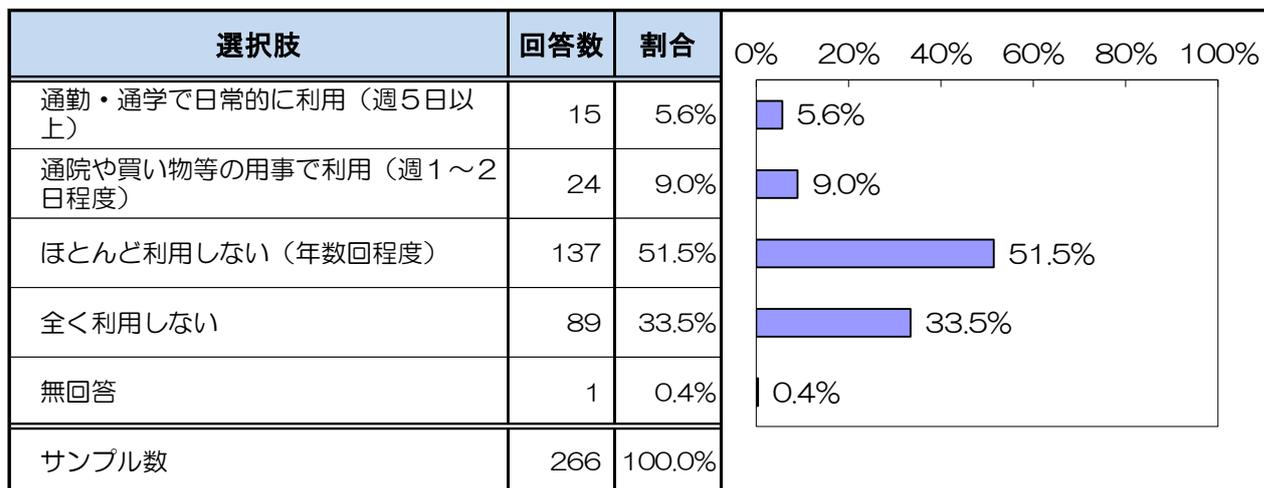
今後、市電・市バス全車両への導入や利用可能なカードブランドの拡充に取り組み、更に便利な公共交通機関を目指してまいりますので、皆様の益々のご利用をお待ちしております。

なお、キャッシュレス運賃決済の今後につきましては、ラピカの老朽化の問題もあり、技術開発やキャッシュレスの動向も見ながら、引き続き総合的に検討してまいります。

3. 調査結果

問 19 市電をどれくらいの頻度で利用していますか。(単数回答)

「ほとんど利用しない（年数回程度）」が 51.5%と最も高く、次いで、「全く利用しない」の 33.5%、「通院や買い物等の用事で利用（週1～2日程度）」の 9.0%の順となっています。



問 20 クレジットカードの「タッチ決済」を知っていますか。(単数回答)

「知っている」が 65.0%、「知らない」が 34.6%となっています。



問 21 クレジットカードの「タッチ決済」をお店などで利用したことはありますか。(単数回答)

「利用したことがある」が38.7%、「利用したことはない」が60.9%となっています。



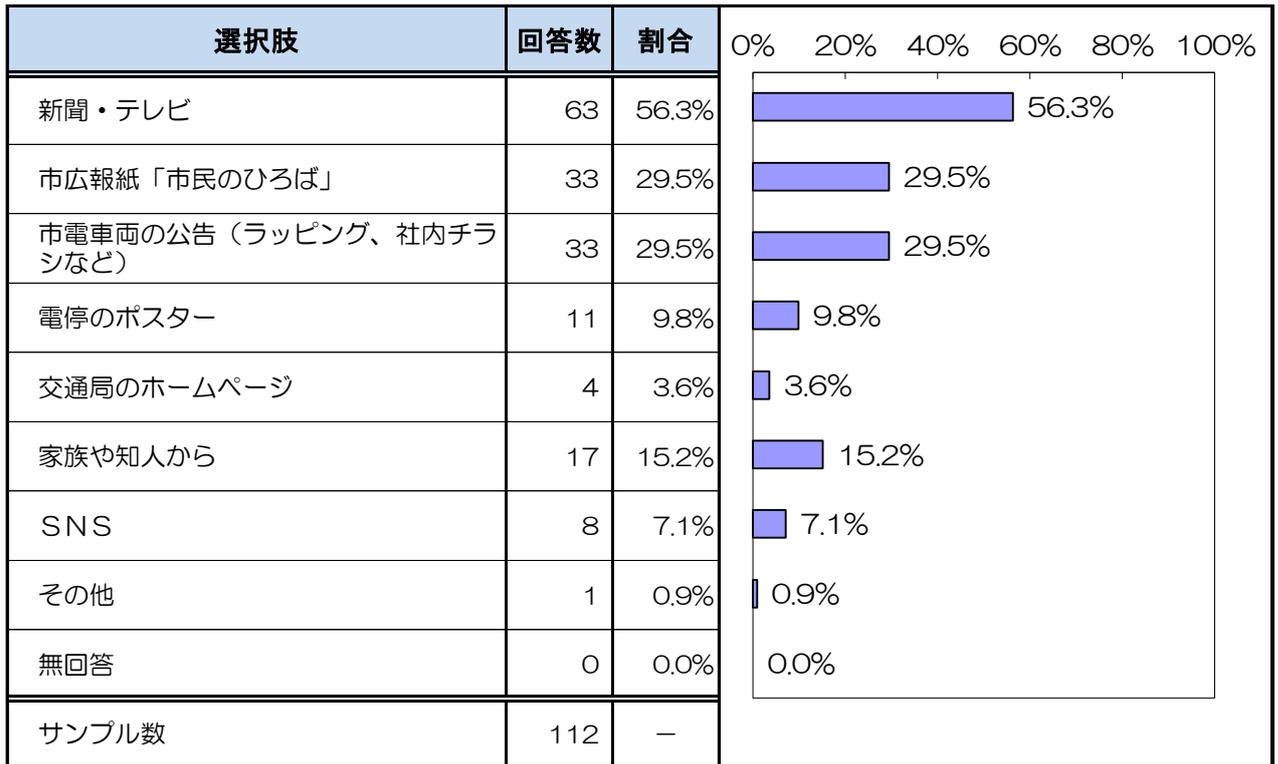
問 22 市電の一部車両でクレジットカードの「タッチ決済」を利用できることを知っていますか。(単数回答)

「知っている」が42.1%、「知らない」が57.5%となっています。



問 23 問22で「1. 知っている」とお答えした方にお伺いします。市電の一部車両でクレジットカードの「タッチ決済」を利用できることをどのように知りましたか。(複数回答)

「新聞・テレビ」が56.3%と最も高く、次いで、「市広報紙「市民のひろば」「市電車両の公告（ラッピング、社内チラシなど）」の29.5%、「家族や知人から」の15.2%の順となっています。

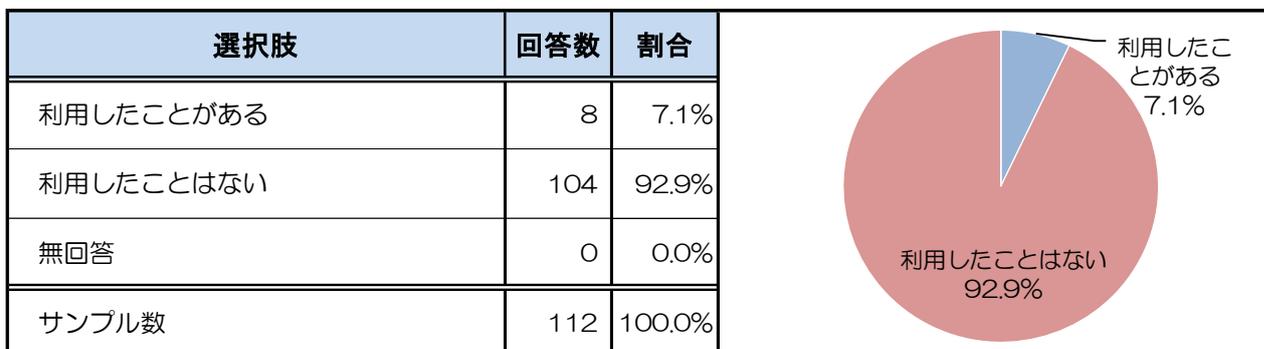


◆その他の回答（一部抜粋・原文まま）

- ・通勤で利用しているので、降りる時にタッチパネルを見つけた時。

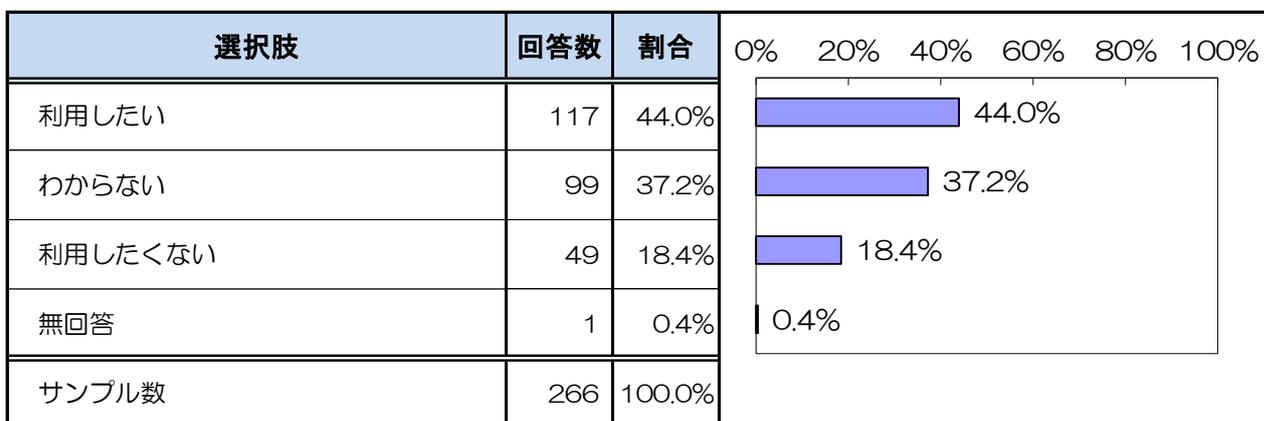
問 24 問22で「1. 知っている」とお答えした方にお伺いします。クレジットカードの「タッチ決済」を市電で利用したことはありますか。
(単数回答)

「利用したことがある」が7.1%、「利用したことはない」が92.9%となっています。



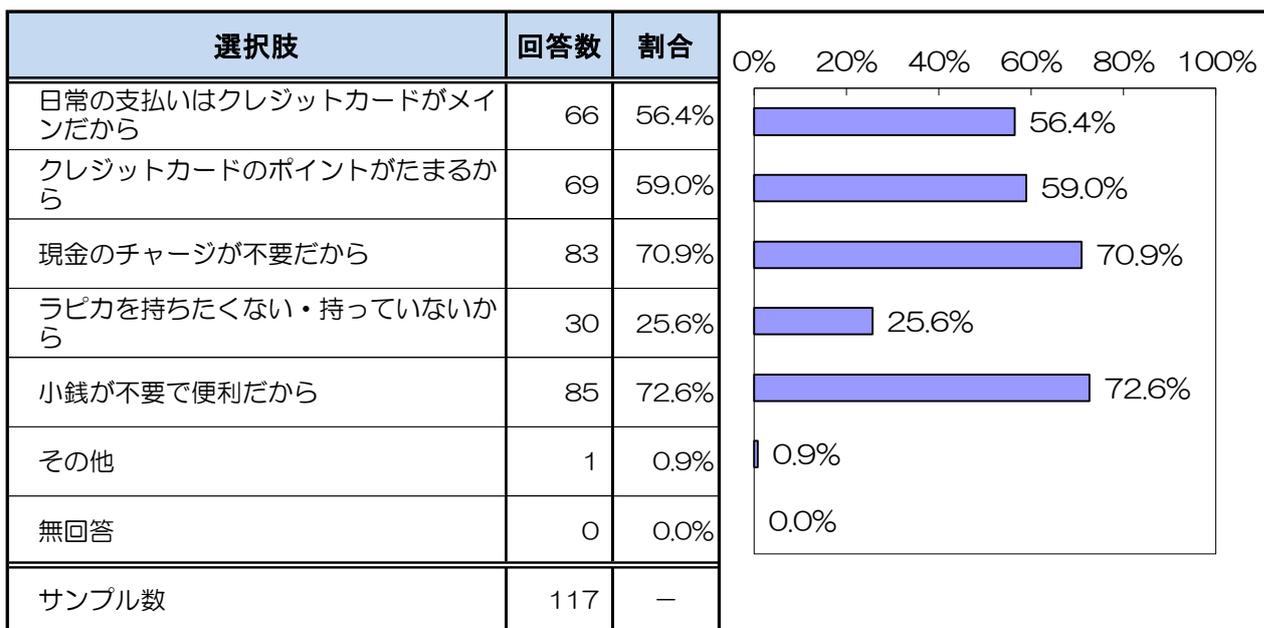
問 25 今後、電車やバスでクレジットカードの「タッチ決済」を利用したいと思いませんか。(単数回答)

「利用したい」が44.0%、「わからない」が37.2%、「利用したくない」が18.4%となっています。



問 26 問25で「1. 利用したい」とお答えした方にお伺いします。電車やバスでクレジットカードの「タッチ決済」を「利用したい」理由は何ですか。(複数回答)

「小銭が不要で便利だから」が72.6%と最も高く、次いで、「現金のチャージが不要だから」の70.9%、「クレジットカードのポイントがたまるから」の59.0%の順となっています。

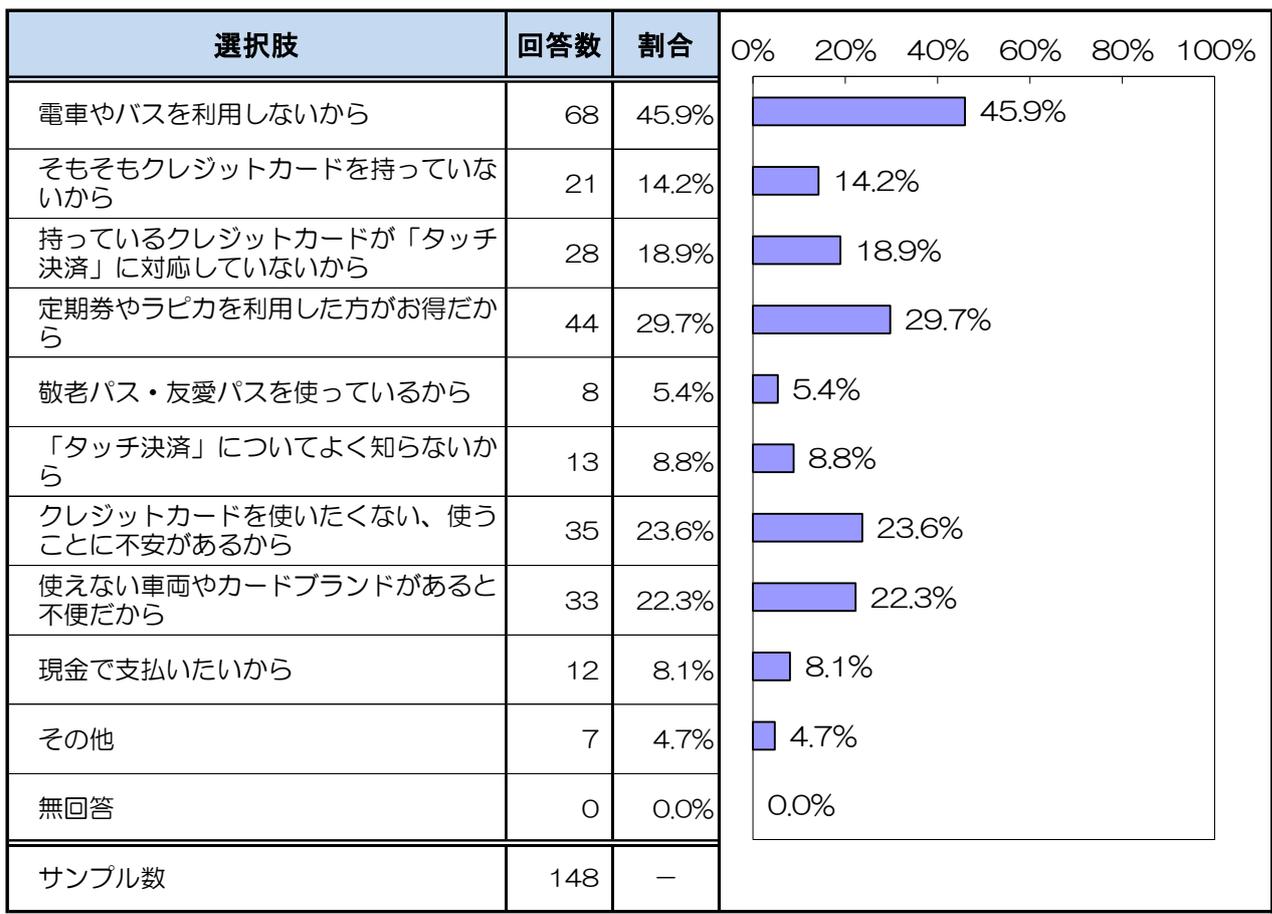


◆その他の回答（一部抜粋・原文まま）

- ・持っているカードの枚数を増やしたくないから

問 27 問 25で「2. わからない」「3. 利用したくない」とお答えした方にお伺いします。電車やバスでクレジットカードの「タッチ決済」を「利用したいかわからない」「利用したくない」理由は何ですか。
(複数回答)

「電車やバスを利用しないから」が45.9%と最も高く、次いで、「定期券やラピカを利用した方がお得だから」の29.7%、「クレジットカードを使いたくない、使うことに不安があるから」の23.6%の順となっています。



◆その他の回答（一部抜粋・原文まま）

- ・クレジット決済の歴史が浅く（市電）信頼がおけない
- ・交通系 IC カードが良い
- ・乗車のたびにクレジットカードを取り出すのに抵抗があるから

問 28 公共交通におけるキャッシュレス運賃決済について、ご意見・ご要望があれば自由にご記入ください。

◆回答一覧（一部抜粋・原文まま）

・キャッシュレス運賃決済への要望等について

回答内容	性別	年代	地域
visa だけでなく全国規模の Suica や一般に広まってる PayPay や QUICPay などの決済も可能になってほしい。	男	30 歳代	谷山
現在 AppleWatch を所有しており、ユーザーも多いと思うため、導入して欲しい。	男	29 歳以下	中央

・キャッシュレス運賃決済の考え方等について

回答内容	性別	年代	地域
地元人は、ラピカを利用すれば良い。他県やラピカを持っていない方のためには、Suica、WAON、nanaco など他県で乗車賃と使用しているキャッシュレスを採用する方が良い。少額の為にクレジットカードを頻繁に出し入れしたく無い。	女	50 歳代	中央

IV 「まちかどコメンテーター」アンケートについて

1. 調査の目的

この1年間、「まちかどコメンテーター」として、今回を含め計6回のアンケートの回答にご協力いただき、ありがとうございました。

次年度以降の改善のため、皆さまの声をお聞かせください。

2. 調査結果を受けて担当課（市民協働課）からのコメント

「まちかどコメンテーター」として回答することで鹿児島市政に対する興味・関心が「とても高まった」「やや高まった」と回答された方が全体の9割以上を占め、多くの皆様に本市の現状や取り組みについて知っていただくとともに、様々なご意見をいただくことができました。

「1回あたりの設問数について」の設問(問29)では、「この程度でよい」と感じた方が68.0%と最も多かった反面、家族・友人へ勧めたいか尋ねる設問(問34)で評価点の低かった方ほど設問数の多さへのご意見が多かったことから、アンケートの回答のしやすさについて、次年度以降の改善点としたいと思います。

アンケートをお送りしてから締切までの期間(問30)については、「2週間程度」が44.0%で最も多く、現状と同じ「3週間程度」が43.6%で、9割近くの方が現状と同程度か、それより短くてもよいという結果でした。

なお、各回の回答率は、概ね8割～9割で推移しており、本市が実施する他のアンケート調査等と比較して大変高い水準を年間を通して維持することができました。皆さまの回答へのご協力に改めて感謝申し上げます。また、施設無料券を使用した方が63.2%で、このうち約8割の方が「初めてまたは久しぶりに利用した」と回答されていることから、多くの方に本市の公共施設をご利用いただくきっかけにつながったものと考えております。

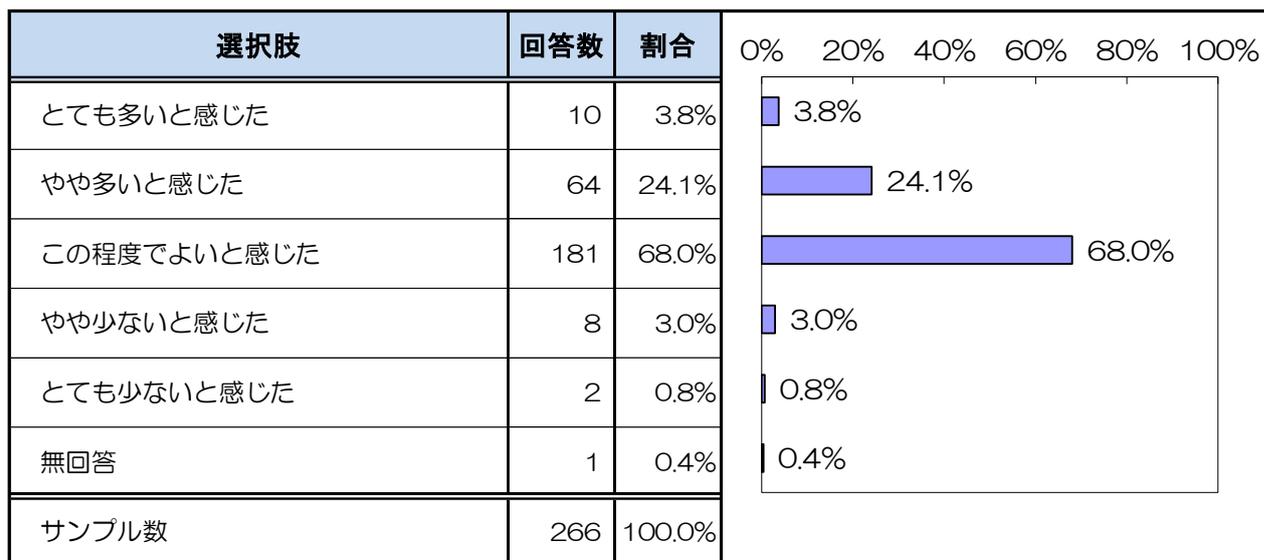
このほか、自由意見では、「選択肢の数が少ない、当てはまるものがないと思うことがあった。」「用語が難しく理解できないところもあった。」「意見が反映されたのか、その考えにどのような評価がされたのか確認する機会があるとなおいいと思う。」などのご意見をいただきました。

今回いただいたご回答から、回答期間については、概ね適切であることが分かる一方で、アンケートの設問数や内容、専門用語などの表現など、改善すべき点も見えてきたため、より効果的なまちかどコメンテーター事業を実施するにあたり、いただいたご意見を参考に改善を検討してまいりたいと思いません。

3. 調査結果

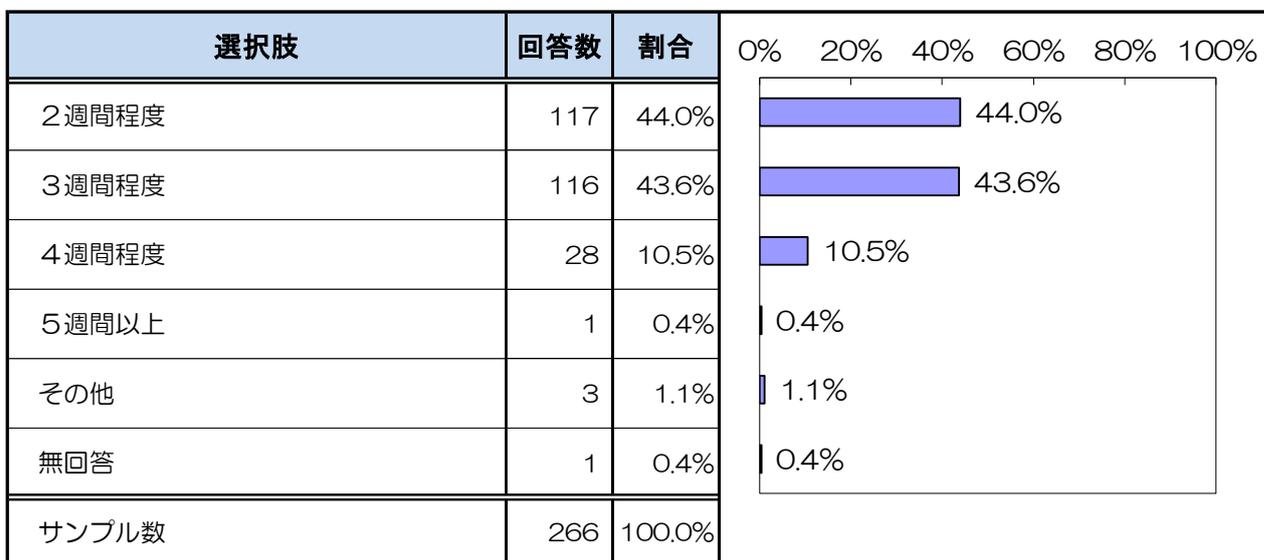
問 29 1回あたりの設問数（R4年度は平均26問）について、どのように感じましたか。（単数回答）

「この程度でよいと感じた」が68.0%と最も高く、次いで、「やや多いと感じた」の24.1%、「とても多いと感じた」の3.8%の順となっています。



問 30 アンケートをお送りしてから締切までの期間（令和4年度は約3週間）
 について、どれくらいが適当であると思いますか。（単数回答）

「2週間程度」が 44.0%と最も高く、次いで、「3週間程度」の 43.6%、「4週間程度」の 10.5%の順となっています。

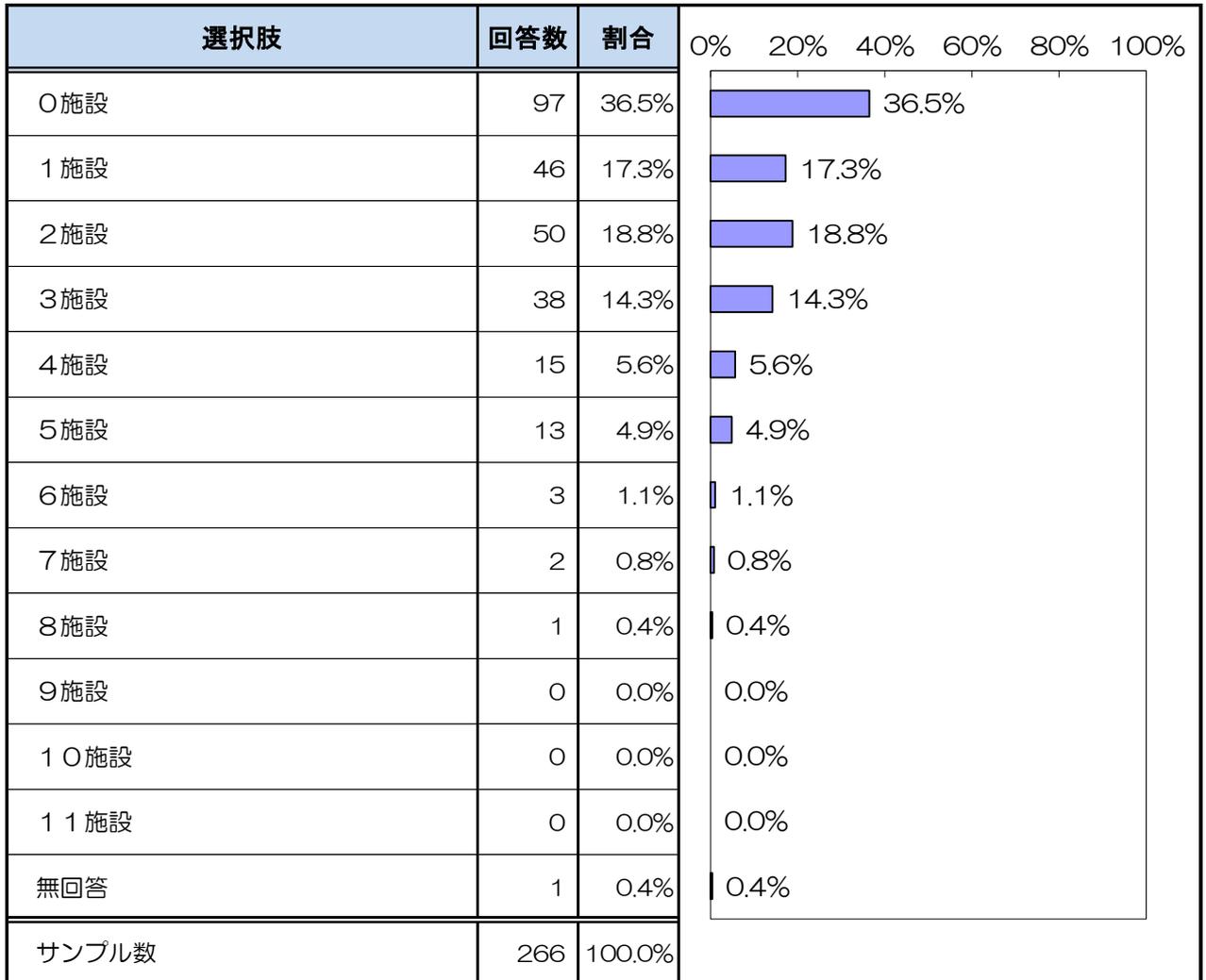


◆その他の回答（一部抜粋・原文まま）

- ・一週間程度でよいと思う。 2件

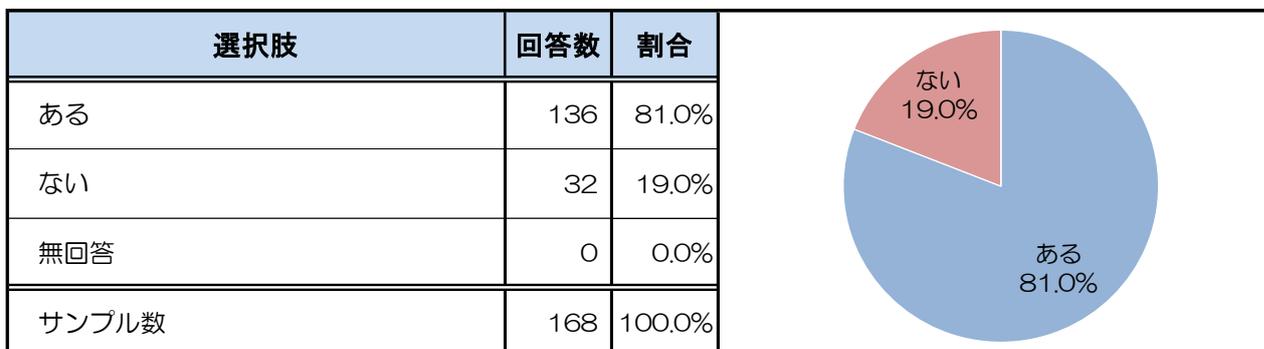
問 31 お配りした「施設料無料券」を使って、実際に利用した施設の数をお教えください。

「0施設」が36.5%と最も高く、次いで、「2施設」の18.8%、「1施設」の17.3%の順となっています。



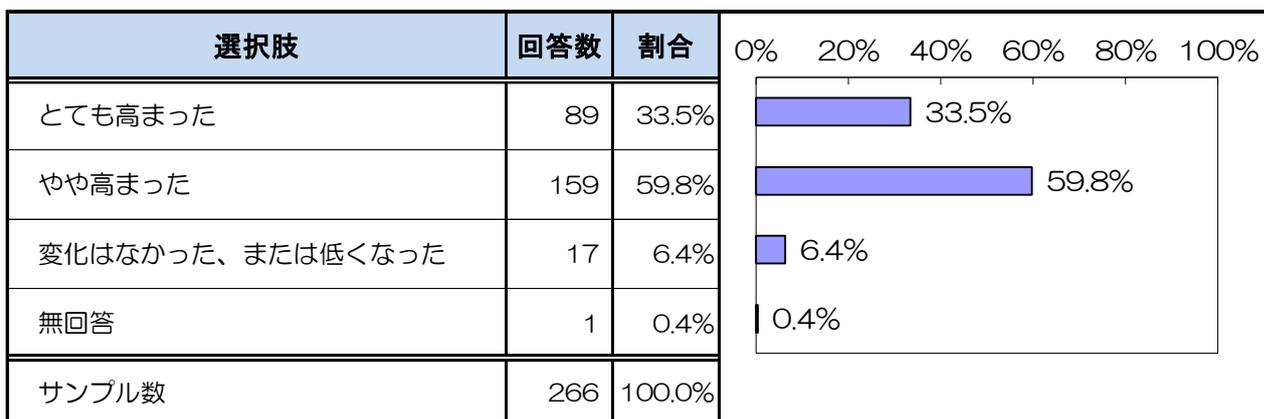
問 32 問 3 1 で 1 以上の数字を記入された方にお伺いします。お配りした「施設料無料券」がきっかけで、初めてまたは久しぶり（概ね 3 年以上利用していない）に利用した施設がありますか。（単数回答）

「ある」が 81.0%、「ない」が 19.0%となっています。



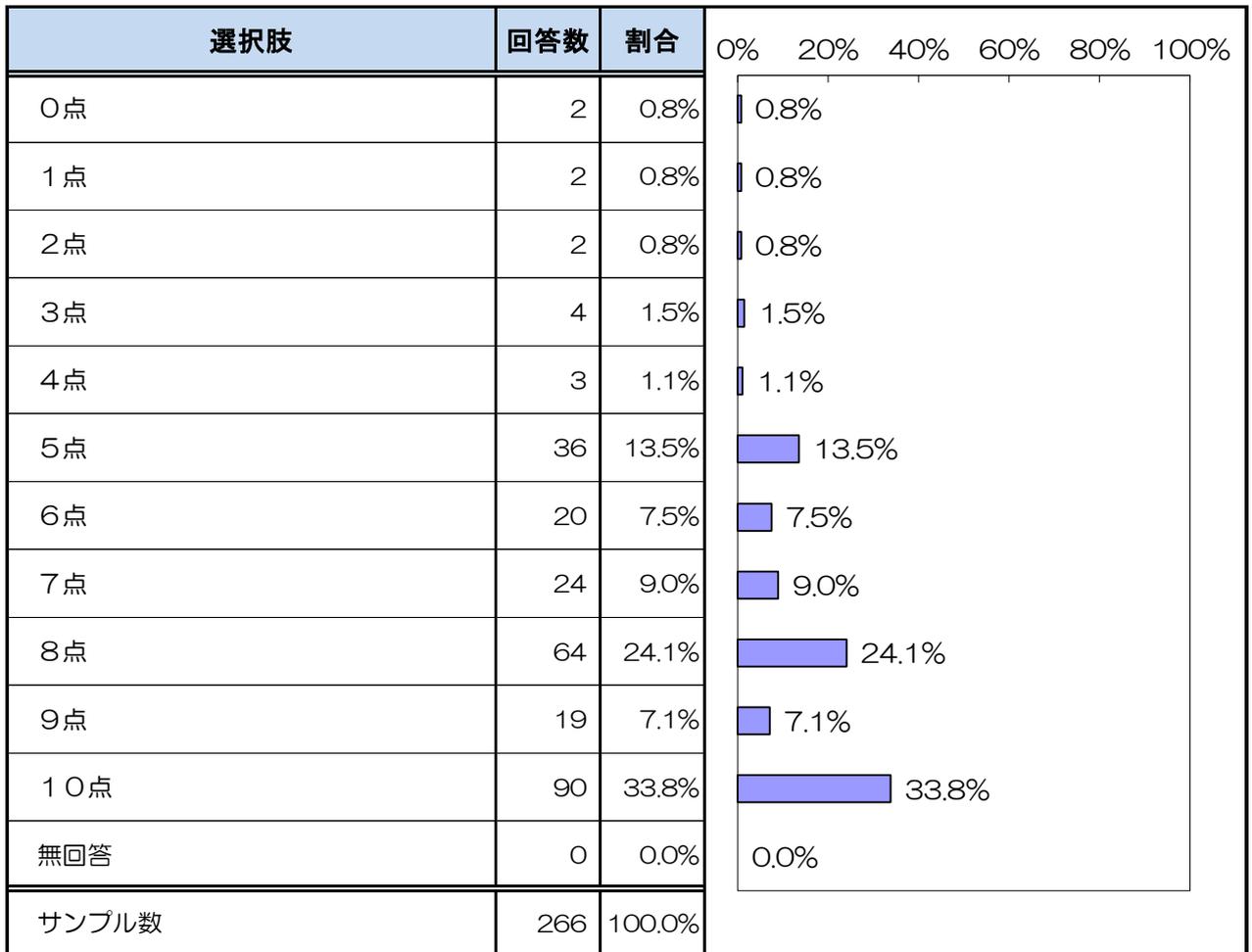
問 33 この 1 年、「まちかどコメンテーター」としてアンケートに回答することで、鹿児島市政に対するあなたの興味・関心に変化がありましたか。（単数回答）

「とても高まった」が 33.5%、「やや高まった」が 59.8%、「変化はなかった、または低くなった」が 6.4%となっています。



問 34 「まちかどコメンテーター」の制度をあなたの家族や知人に勧めるとした仮定した場合、どの程度勧めたいと思いますか。勧めたい場合を10点満点として、0点から10点の間で、教えてください。

「10点」が33.8%と最も高く、次いで、「8点」の24.1%、「5点」の13.5%の順となっています。



問 35 問 3 4 で、その点数にした主な理由を教えてください。

◆回答一覧（一部抜粋・原文まま）

点数	回答内容	性別	年代	地域
0 点	反映されている気がしない。反対的な意見が多いからか、抜粋ページには載せてもらっていない。自分たちに気持ちが良い意見しか聞かない。反対意見に真意があると思うが、こんなことなら時間をかけて真剣に考えた方がいいが無かった。	男	50 歳代	吉野
1 点	手間がかかるが、報酬が少ないため勧める理由が無いと感じた。	女	30 歳代	伊敷
2 点	メリットがあまりなかった。市電などや観光バスなど利用できたら良かった。	女	50 歳代	中央
3 点	アンケートによって何が変わったのか、何を変える予定なのか等の告知が全く無かった。	男	50 歳代	松元
4 点	施設のクーポンを思ったより使用することがなかったから。	その他	40 歳代	中央
5 点	アンケートの内容が重要なこと？と感じる質問が多い。公費を節約するための取組や(カットした方が良いもの)などについて市民の声を聞いた方が良いと思う。	女	50 歳代	中央
6 点	あまり興味がなく答えにくい質問がある。	男	40 歳代	郡山
7 点	参画してる気分になれるので。	男	30 歳代	谷山
8 点	市民が主役の市政づくりにまちかどコメンテーターは、身近に感じる制度であると思うし、今年度から市施設を体験できる「施設無料券」はとてもよいアイデアと思うので、知人に勧めやすい。	男	70 歳以上	伊敷
9 点	特にデメリットはなく、家族連れの人などは施設利用する機会も多いと思うので。	男	40 歳代	谷山
10 点	自分の意見を伝えることの出来るいい機会であり、鹿児島市政についての意識も自然と高まっていったのでいいと思いました。	女	29 歳以下	中央

問 36 「まちかどコメンテーター」アンケートに関して、改善すべき点がありましたら、教えてください。

◆回答一覧（一部抜粋・原文まま）

・アンケート内容の提案について

回答内容	性別	年代	地域
提示されたテーマ以外にも、気になることを自由に記入することがあれば、今市民が感心を持っていることや不満などがわかるのでは。	女	40歳代	中央

・WEB回答システムの改善について

回答内容	性別	年代	地域
60分過ぎると今まで記入したものが消去されてしまうことや一時保存する為の手間が煩わしいのでシステムを改善して欲しい。	女	50歳代	中央

・アンケート回答後の情報提供について

回答内容	性別	年代	地域
具体的な提案や意見がどのように検討されたか生かされたか、フィードバックが欲しい。	男	40歳代	桜島

・アンケートの実施回数について

回答内容	性別	年代	地域
質問の数を減らす代わりに年間のアンケート回数を増やすほうが取り組みやすいと感じます。アンケートの期間が空きすぎると忘れてしまいがちです。	女	40歳代	吉田